

県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議
住所 〒231-0028
横浜市中区翁町1-5-14新見翁ビル4階
電話・FAX 045-319-4391
Twitter :@kanagawaroudou

2024年
1月11日
第33号



県共闘ホームページ
Kana-kenkyoto.org

「安心して暮らせる賃金を！ 24年を共に闘おう！」

自民党の政治資金パーティー収入をめぐる裏金疑惑が拡大していた12月9日、県共闘傘下9労組は、神奈川県労働プラザで第33回定期大会を開催しました。会場には30名の代議員と来賓がつどい、大会議長に全国一般神奈川の八木さんを選出し始まった。

はじめに川端議長があいさつに立ち、「ウクライナ、パレスチナでは戦争が続いている。今も現地では人が亡くなっている、直ちに停戦を願う。また、すさまじい物価高騰で労働者、国民の生活は切羽詰まっている。24春闘では、物価上昇を上回る賃上げを！」と述べ、最後に「来年の活動方針論議を活発にお願いしたい」と締めくくった。忙しい中を駆けつけていただいた来賓は、渡邊全労協議長、内

海神奈川労働センター職員、JAL争議団の白井・小栗さんが参加、連帯の挨拶をいただいた。

議事は、小内事務局長が、県共闘ニュース、全労協新聞などを示しながら、第32期（2023年度）の一般経過報告（年間活動報告）と会計報告、会計監査報告、続いて第33期（2024年度）活動方針と予算が提案、討論を経て、賛成多数で可決、闘う24春闘方針と年間活動方針を決定し大会は終了しました。

大会を経て県共闘は、第50次寿越冬闘争に参加し24年の活動をスタートしたものの物価高騰の嵐が収まる気配はなく、実質賃金の低下でさらに拍車がかかり厳しい生活を私たちに強いることから、8時間働けば安心して暮らせる賃金・

社会、格差と貧困のない社会、戦争のない安全で安心して暮らせる社会、政治の腐敗を許さない社会を目指し、連帯して闘うことを決意する大会となった。共に闘おう！

県共闘議長 川端勇次



(第33回定期大会川端議長の挨拶)

—全労協・24春闘決意固める!—

1月30日全労協は、全水道会館で、「24春闘発足総会・学習集会」を開催し方針を確認、24春闘を開始した。

集会会場には80名の仲間が集まり、渡邊議長の挨拶から始まった第一部春闘発足総会で、関口新事務局長は、7ページに及ぶ春闘基調報告を行なった。報告では、今年の物価高騰は労働者、国民の生活を脅かし、実質賃金は減り続けている、8時間働けば安心して暮らせ、物価上昇を超える賃上げをこの春闘で成し遂げようと提案、具体的な行動要請も行われた。提案は、参加者の圧倒的拍手で承認された。

その後、第二部の学習会に移った。講師は、嶋崎労働弁護団常任幹事で「岸田政権の労働政策を問う！」のテーマで約1時間の講演でした。講演では、経営者は解雇の金銭解決の法整備を狙っているが、金銭を払えば解雇が出来る法律など労働者にとっては必要がないことを知ってほしいと話す。また、フリーランスなど労働契約によらない働き方が推奨されているがこれは労働法の骨抜きにつながり、岸田政権はその露払いをしていると警鐘を鳴らす。私達労働者も労働法改悪には注視していかなければならない。

いよいよ24春闘が開始されました。労働者から奪い積み上げた内部留保を取り戻す、8時間働けば安心して暮らせる賃金を共に勝ち取りましょう。



(渡邊全労協議長のあいさつ)

訃報

川端県共闘議長は、1月2日、突然に逝去いたしました。謹んでお悔やみ申しあげますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

尚、上記報告文は生前に投稿されていたこと、また24年へ向けた議長の思いであることからそのまま掲載いたします。

県共闘事務局

神奈川県共闘第33期（2024年度）役員一覧

役職	氏名	所属組合
議長	川端 勇次	全国一般労働組合全国協議会神奈川
副議長(会計)	吉良 寛	横浜市従業員労働組合総務財政支部
事務局長	小内 秀高	学校事務職員労働組合神奈川
事務局長次長	沢口 和善	全国一般労働組合全国協議会神奈川
幹事	吉良 寛	横浜市従業員労働組合総務財政支部
同	神保 俊	横浜市従業員労働組合泉支部
同	宮澤 哲	学校事務職員労働組合神奈川
同	越後 重宣	全造船関係労働組合浦賀分会
同	山崎 照一	日本板硝子共闘労働組合川崎支部
同	清水真樹子	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	清水 理恵	郵政産業労働者ユニオン神奈川
同	近藤 昇	寿日雇労働者組合
同	藤井 勇悟	新都市交通労働組合
同	佐久間吉美	神奈川ワーカーズユニオン
会計監査	佐藤 修作	郵政産業労働者ユニオン神奈川
事務局員	小畑 隆昭	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	横澤 仁志	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	加藤 隆	横浜市従業員労働組合泉支部OB

年頭のごあいさつ



全国一般労働組合全国協議会神奈川 副執行委員長 八木 均

新年あけましておめでとうございます。

全国一般神奈川は昨年9月の定期大会で承認された新執行部の下で、本年も異なる様々な職場の労働者を組織する地域合同労組の強みを生かしながら各職場の課題に向き合っていきます。優先課題として昨年から継続していた、丈夫屋地位確認訴訟、テクノエープ不当労救済申し立てに加えて、新たにピステオン不当解雇撤回の闘いに全力で取り組んでいきます。県共闘加盟単組の皆さんには引き続きご協力、ご支援をお願い致します。

昨年から物価上昇が止まらないが、中小企業の賃上げは微々たるもの、実質賃金の低下は歯止めがかからない。一方で防衛費増税、原発再稼働、辺野古新基地建設の強行など、市民の生活や命を軽視する政策はエスカレート。職場での闘いと同時に、市民の生活や命を一部の投資家や富裕層の利益増殖の道具とされぬよう自公政権にNOを突き付け、雇用と生活・命を守る闘いを共に進めましょう。

寿日雇労働者組合

近藤 昇

この年末始も寿町では、生き抜くための闘い=第50次越冬闘争がたけなわだ。寿町の人々の高齢化は止まらない。今や平均年齢65歳くらいなのだが、昨年10月から今年9月までの寿職安は10件10人とどまっておらず、生きるために生活保護を選択せざるを得ない人は、寿全体の8~9割を占めるようになってきている。また昨年行われた「ホームレス実態調査」では横浜市内で路上生活に追いやられている人は、217名で、その内55名は関内地域（スタジアム、マリナード地下街）に集中しているという報告がある。その関内地域は29年度までの間で再開発が進行している。開発の中心は、高さ170mビル2棟、120mビルが林立するが、通勤、通学、居住者、観光などで、巨大な人流が出現。その時、関内地域の路上生活者はどう抗すればよいのだろう。われわれ寿日雇は、日雇い労働や不安定就労の結果路上へと行き着いた仲間の尊厳を守る闘いとして第50次越冬闘争に取り組む決意である。今年一年も県共闘の仲間とともに！

郵政産業労働者ユニオン神奈川支部 書記長 桐ヶ谷 幸央

昨年は新型コロナの脅威から少しづつではありますが普通の生活に戻って来ている気がしますが、それでもパンデミックの影響は大なるものがあります。景気が立ち直らず、物価高騰により全体で値上げ合戦が行われていますが、賃金が上がるわけでもなく生活は向上しません。また日本郵便も今年度の赤字を理由に郵便料金を値上げします。しかし本来の問題として無駄なものにお金を使っていれば値上げしたところで赤字は解消されません。面白かったのは今年から新しいDcasを導入するのですが、職員同士でチャットできる機能がついており、配達中にチャットをして連絡取りあうのだそうだが電話のほうが早いです。このチャットの機能を付けるのに一体どれ位の金額が使われたのか知りたいものです。他にも言いたいことは多々ありますが、そんな中でも働いている組合員が少しでも生活がしやすい環境になれるよう活動していければと考えています。新年を迎え気持ちを新たに組み込んでいきたいと思えます。

全造船関東地協労組追浜浦賀分会 青木 直史

2024年春闘時に、再々雇用の就業当初から丸山委員長の賃金計算にミスが発覚しました。その交渉で、派遣先の住重ME（住重横工の親会社）が、丸山委員長を70歳まで（2年間）雇用すると表明し、解決しました。分会定期大会は、10/7に、原則来賓なしで開催しました。コロナ緩和で10/22にピースフェスティバル開催、ミニSLを運行しました。2024年旗開きも来賓なしで1/20に開催を予定しています。24春闘をともにたたかきましょう！

日本板硝子共闘労働組合川崎支部

委員長 山崎 顕一

新年、あけましておめでとうございます。

私は、昨年10月から委員長に就任しました。諸先輩方のように立派な活動が出来るか分かりませんが、「少数でも会社にモノを言える組合」の意志を引き継ぎ、様々な提案に対してしっかり対応していく所存です。委員長になったことにより、全国一般の活動に参加する機会が多少減る可能性があります、私に出来る事があれば精一杯やらせて頂くので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

神奈川ワーカーズユニオン

佐久間 吉美

自公政権による戦争する国づくりや増税・原発・マイナ制度・金権政治・物価高等々が推し進められていますが、何れも廃止又は阻止しなければなりません。取り分け、物価高による実質賃金の低下や年金・僅かな貯蓄の目減りもあり、私たちの生活は益々苦しくなっています。

こうした中、1人でも多くの仲間の相談に乗ればと、年3回の労働相談を呼び掛けるチラシ配布（各組合員の居住地）や関内駅北口での駅頭宣伝（毎月第1火曜日）などの諸行動を行っています。組織拡大が難しく年々歳を重ねるばかりで大半が年金生活者の弱小組合ですが、人間らしく生き続け働き続けられる社会を目指し、山積する諸課題に取り組んでいきます。共に頑張りましょう。

横浜市従業員組合総務財政支部

吉良 寛（県共闘幹事）

横浜市従総務財政支部のこの春の取組みの柱は、①感染症対策を万全にした職場懇談会・組合員交流を重視した活動、②増員要求・予算要求・職場要求実現に向けた活動と学習、③常に組合員拡大を意識した活動、④「憲法擁護」を中心とした活動、の4つです。今年、新市庁舎移転後初めて、全組合員参加の旗開きを4年ぶりに実施します。引き続き執行部、支部委員、職場組合員が協力しながら、元気に活動していきます。

学校事務職員労働組合神奈川

宮澤 哲

新年の御挨拶を申し上げます。昨年来の物価高の一方で賃金の上昇は到底それに及ばず、実質的な賃金減（目減り）という状況の職場も多いことでしょう。物価高と賃金目減りによる生活苦境、さらに元日の北陸での大規模な地震で多くの被災者が出ている中、政府自民党の国会議員らによる総額で1億円にもぼる裏金疑惑への強い怒りの声が轟いています。安倍政権以来、10年余続いてきた自公政権が行ってきた政治の腐敗の帰結がこの「パーティ券疑惑」の本質ではないでしょうか。超インフレ下に独り利益を上げる資本の手から私たちの生活給=賃金を勝ち取り、政治の腐敗と自公政権による軍拡政策、改憲策動を打ち破る取り組みを今年も進めて行きましょう。

新都市交通労働組合

藤井 勇吾

2024年活動方針は、タクシー業界はライドシェアやアプリ配車などの新しいシステムの導入により、大きくその姿が変わろうとしています。ここ30年、タクシー業界は賃上げを行っていません。それ自体が人手不足を招く大きな要因となっています。今年の春闘で当組合はタクシー業界全体のためにも物価上昇率分の賃上げを要求していく所存です。私自身の方針としては組合員を増やすと同時に、社長の考え方を変えることをミッションと考えています。社長は年頭の挨拶において社員や乗務員に対し「経費節減」を訴えていましたが、最大の経費無駄遣いのひとつは社長自身の専用車だと考えます。それを廃止することこそが当組合の最大の要求であり、「乗務員ファースト」の会社を目指す一歩なのです。

【住所】 横浜市中区翁町1-5-14 新見翁ビル4F

【電話】 045-319-4382

<https://www.kanagawa-roudou.net/>